前向きな姿勢の工具メーカー

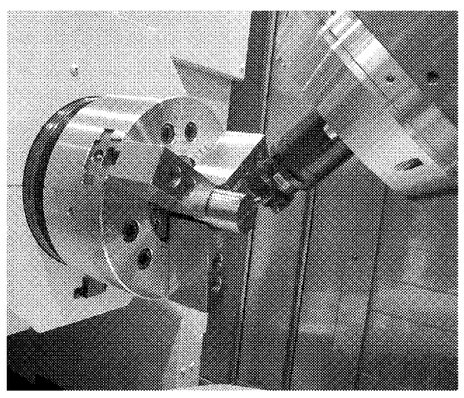
工作機械に比例し伸ばす設備投資や技術支援

国内でも新工場の稼働など

強気な姿勢 新たな提案

各社がアジアに目を向ける中、国内への新工場建設を決めた企業もある。大見工業（愛知県安城市）は12年春をめどに、島根県益田市に精密工具生産の新工場を稼働する。同社はトヨタ自動車グループのほか、国内の主要自動車メーカーと取引がある。最近はジグとの組み合わせ提案に力を入れており、「まだまだ伸びしろはある」（大見満宏大見工業社長）と強気だ。

島根の新工場へは現在、本社工場で生産している精密工具を移管する計画。今は本社工場で精密工具と一般工具を生産しているが、両工具は製造工程も作業者の勤務体系も異なる。このため、本社工場を一般工具、新工場を精密工具と、生産をすみ分けることで、双方の生産効率を高めるのが狙いだ。


サンドビックは節電プロを提案

また、東日本大震災を機に、新たな提案を始めたのは、サンドビック（神戸市西区）。工具の選び方や使い方によって節電効果を高める営業ツール「サンドビック節電ツールプログラム」を策定し、ユーザーへの提案を始めた。工具は寿命やコストを前面に打ち出すことが多く、節電を切り口とした提案は珍しい。

同プログラムは、製品と使い方の2方向からアプローチした。例えば、同社製荒削りカッター「コロミル490」は切削抵抗が低く、標準的なカッターと比べ約17%の節電が可能。また高圧クーラントを使うことで、切りくずの処理時間を短縮できる。1日200個の自動車部品を生産するメーカーの場合、加工時間が半分になったという。

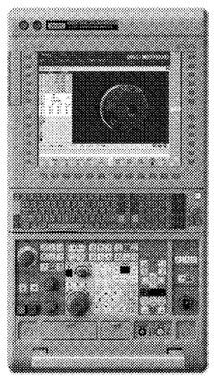
切削抵抗が低く、耐久性が高い同社製工具の優位性を〝節電〟の観点から検証し、データを集めた。東日本大震災を契機に節電要請が強まる中、ユーザーの反応が注目される。同社は「以前から〝生産性〟を重視してきたのが今回の提案につながった」（サンドビックコロマントカンパニー）と胸を張る。電力問題は長引く可能性もあることから、「今後も進化、継続していく」（同）方針だ。

日本のモノづくりを支える中部の工作機械産業

PURE TECHNOLOGY

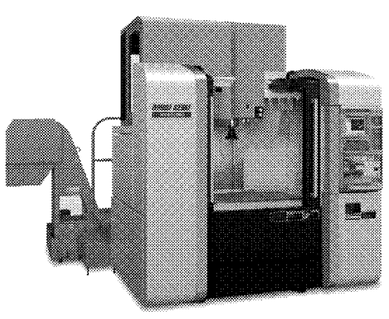
X class 続々誕生中!

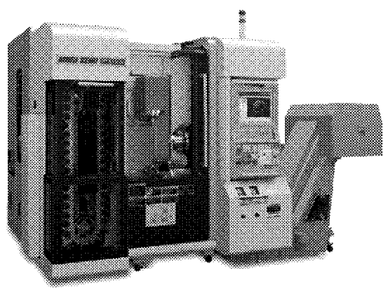
高剛性
熱変位抑止
豊富な バリエーション
省エネ


MAPPS Ⅳ

高剛性・高精度CNC旋盤
NLX SERIES

高精度高速横形マシニングセンタ
NHX SERIES


高精度高速立形マシニングセンタ
NVX SERIES

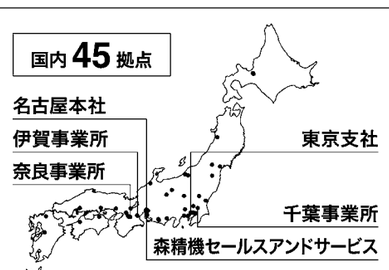

高精度・高効率複合加工機
NTX SERIES

MAPPS: Mori Advanced Programming Production System

株式会社 森精機製作所
■名古屋本社　名古屋市中村区名駅2丁目35-16（〒450-0002）
TEL. (052) 587-1811　FAX. (052) 587-1818
■東京支社　東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟18階（〒108-6018）
TEL. (03) 5460-3570　FAX. (03) 5460-9610
■奈良事業所　TEL. (0743) 53-1121
■伊賀事業所　TEL. (0595) 45-4151
■千葉事業所　TEL. (047) 410-8800

株式会社 森精機セールスアンドサービス
名古屋市中村区名駅2丁目35-16（〒450-0002）
TEL. (052) 587-1862　FAX. (052) 587-1864

サービスセンタ　フリーコール 0120-124-280　フリーコール 0077-78-0222　24時間 365日 通話無料

国内45拠点


EMO Hannover 19-24・9・2011
Hall 2 | Entrance East

Gold Sponsor
world skills London 2011
Showcasing skills that shape our world